

2006 年度事業報告書

平成 18 年度においては、例年どおり 4 回の企画展と、特別展 1 回を開催し、総開館日数 204 日でありました。総来館者は 17,268 人、前年に比べますと 50%ほど増加いたしました。春季展をはじめ通常の年 4 回の企画展では、ほぼ昨年並で、増加分は特別展「細川護熙・加藤静允 数寄に生きる」開催によるものであり、新聞等でとりあげられたこともあって 1 日平均 200 名を超える入館者数を記録するものとなりました。これに伴い、事業収入は観覧収入をはじめ出版物収入、写真ポジ掲載料、売店収入等含め、昨年度よりも約 30%強の増加となりました。

毎年 1 月 25 日に行っております逸翁追善茶会は、表千家木村哲郎宗匠のご担当で懸けていただき、484 名のお客様をお迎えし盛会でありました。なお、入館料の一部 15 万円を池田市へ寄付いたしました。

(1) 企画展展覧実績

テーマ・期間・開館日数	月別	開館日数	入館者数	総入館者数
春季展 「-王朝の息吹- 歌ごころの世界」 自 平成 18 年 4 月 1 日 至 平成 18 年 6 月 11 日 62 日間	4 月	26	1,256	3,427
	5 月	26	1,537	
	6 月	10	634	
夏季展 「青蒼の美-染付のうつわ-」 自 平成 18 年 7 月 8 日 至 平成 18 年 8 月 13 日 33 日間	7 月	21	881	1,847
	8 月	12	966	
特別展 「細川護熙・加藤静允 数寄の生きる」 自 平成 18 年 9 月 16 日 至 平成 18 年 10 月 9 日 21 日間	9 月	13	2,329	4,230
	10 月	8	1,901	
秋季展 「京の風雅-円山四条派と京焼-」 自 平成 18 年 10 月 21 日 至 平成 18 年 12 月 10 日 44 日間	10 月	9	469	3,872
	11 月	26	2,981	
	12 月	9	422	
早春展 「千家のお茶と職家のお道具」 自 平成 19 年 1 月 13 日 至 平成 19 年 3 月 4 日 44 日間	1 月	16	1,211	3,892
	2 月	24	1,995	
	3 月	4	686	
平成 18 年度合計		204		17,268

注1.

- (1) 入館者数は各月の招待者数計2,263人を含む。
- (2) 一日の平均入館者数は約85人
- (3) 特別展での入館料は下記のとおりといたしました。

大人1,000円、大・高校生500円、中・小学生200円

(2) 刊行物

各展覧会毎に目録を刊行、入館者に無料配布。

また、特別展より展示品説明冊子を有料にて販売を始めました。

(3) 講演会

各企画展開催中に下記のとおり6名の講師を招き、各展の内容に関連したテーマで講演会を開催し、多数の聴講者の参集を得、好評を博しました。

講演会実施日	題 名	講 演 者
春季展 平成18年 4月22日	「与謝野晶子の源氏物語礼讃」 -逸翁（小林一三）と美術品の世界-	国文学研究資料館館長 大阪大学名誉教授 伊井春樹氏
夏季展 平成18年 7月29日	「美術館が街をかえる」	金沢市助役 金沢21世紀美術館館長 大阪市立美術館館長 蓑 豊 氏
特別展 平成18年 9月23日	「細川歴代の文と武と美」	演 者 細川護熙氏 座 長 加藤静允氏
秋季展 平成18年 11月25日	「応挙から呉春へ」	近世美術研究者 元同志社大学教授 橋本綾子氏
早春展 平成19年 2月17日	「十職の好み」	林原美術館館長 熊倉功夫氏